



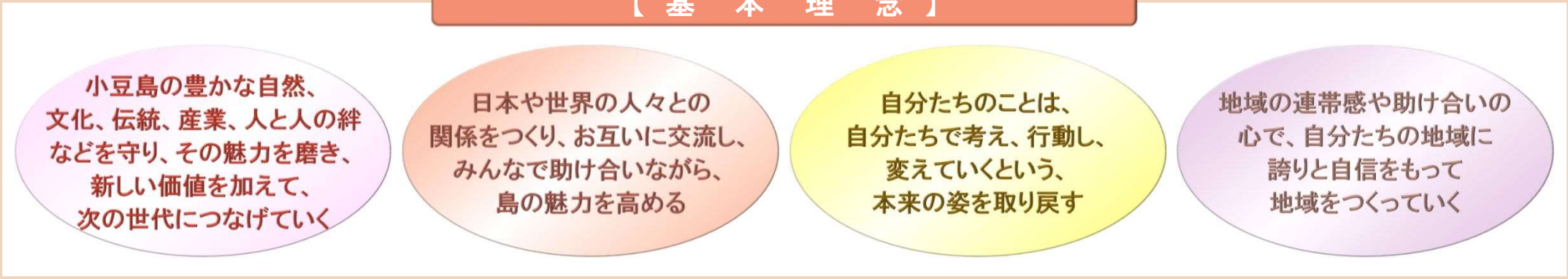
小豆島町の総合戦略策定に向けて (第2期)

日 時：令和2年2月26日（水）午後6時30分～
場 所：小豆島町役場本館3F 大会議室

第2期小豆島町の人口ビジョンと総合戦略 2020～2024（案）

【～人が集い、元気なまちを目指して～】

【基本理念】



人口ビジョン

- ❖ 毎年度移住者140人(うち70人が定住)を目指す。国の長期ビジョンと同様の合計特殊出生率(2040年に2.07)を達成した場合、2060年の人口は、約8千8百人(社人研推計約5千2百人)になる。
- ❖ 高齢化率においても、42.3%(社人研推計55.9%)となり、バランスのとれた人口構成に向かっていく。

総合戦略



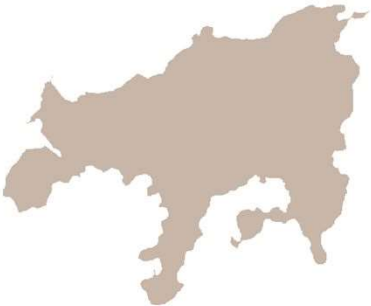
「人が集い、元気なまち」を目指して

～ 基本戦略 ～

健康・福祉のまち

健康づくり

福祉の充実



産業のまち

産業づくり

農業・漁業の振興

行財政改革の推進

集中改革プラン

中期財政計画

所得向上による税収基盤の強化
地方創生推進交付金の活用
個人版・企業版ふるさと納税の活用

定住・交流のまち

防災・環境

つながり・交流

教育・文化のまち

子育て・人づくり

文化・アート総合戦略

第2期小豆島町総合戦略の基本施策 2020～2024（案）

基本施策

【～人が集い、元気なまちを目指して～】

健康づくり

- ❖ 小豆島中央病院を核とした地域包括ケアシステムによる地域づくりを推進する
- ❖ オリーブを用いた健康長寿の島づくりを推進する
- ❖ 健康づくりのリーダーの養成、自主的な健康づくりを推進する
- ❖ 生涯現役を目指し、高齢者が多様な分野で活躍する社会をつくる

福祉の充実

- ❖ 特別支援学校、障害者支援施設の充実など地域の福祉(ぬくもりと希望の島づくり)をつくる
- ❖ 医療・福祉の人財確保・育成を図る
- ❖ 認知症があっても暮らすことができる社会をつくる
- ❖ 地域の見守りシステムの構築を図る

産業づくり

- ❖ 地域資源を活かした小豆島ブランドを確立し、稼ぐ力を高めることによって、所得向上を目指す
- ❖ かがわ外国人相談支援センター等と連携し、外国人の受入と共生に向けたあり方をつくる
- ❖ 農泊事業の展開等、島の新たな宿泊環境をつくる
- ❖ 2025大阪・関西万博を絶好のチャンスにし、あらゆる手段を尽くして、小豆島のPRを実施する

農業・漁業の振興

- ❖ 人・農地プランの実質化を推進し、担い手の育成と農地の集積・集約化を実現する
- ❖ 漁業振興協議会を核とし、漁港基盤の整備を図りながら漁業の振興に取り組む
- ❖ オリーブトップワンプロジェクトを推進し、強い産業をつくる
- ❖ 有害鳥獣対策を推進する

防災・環境

- ❖ 国土強靱化地域計画を策定し、ハード・ソフト両面の対策を推進する
- ❖ 神戸航路を活用した寄港地との包括連携協定により防災対策の充実を図る
- ❖ 中間処理施設を新たに整備し、ゴミの減量化等を推進することにより持続可能な地域社会の実現を目指す
- ❖ 第2期空き家等対策計画を実践し、生活環境の向上を図る

つながり・交流

- ❖ 地域おこし協力隊の制度を活用し、新たな視点で地域の魅力を引き出し、地域課題の解決を目指す
- ❖ 小豆島を応援する関係人口の増加を目指すため、大学等との包括連携協定を増やす
- ❖ 福武ハウスを活用するなど、国際化に向けた人財育成に取り組む
- ❖ 通院、通学、物流、観光等の基盤となる道路・港湾・橋梁等の整備を進める
- ❖ 香川県や香川大学等と連携し、先端技術(自動運転、AI、5G等)の研究を推進する

子育て・人づくり

- ❖ 第2期すくすく子育て応援アクションプランを実践し、日本一の子育てを目指す
- ❖ 小豆島でしか出来ない幼・保・小・中・高の一貫教育を実践する
- ❖ 子どもたちにとって望ましい教育のあり方をつくる
- ❖ 英語教育、情報教育、コミュニケーション教育を推進する
- ❖ 誰もが生涯を通じ「まなび・つどい・つながる」環境づくりを進める

文化・アート総合戦略

- ❖ 瀬戸内国際芸術祭を通じて、国内外の交流を生み出し、お接待等により、地域の絆を再生する
- ❖ 文化財保存活用地域計画を策定し、地域の文化・伝統を守り、活用し、継承していく仕組みをつくる
- ❖ せとうち備讃諸島の石の物語(日本遺産)の魅力高め、みんなで活動することによって文化への自信と誇りを育む
- ❖ 文化と教育の先端自治体連合を核とし、演劇やアートを通じたコミュニケーション教育を推進する